

○竈解体奉告祭詞

此の「地名・名称」「○○家」を仮の齋庭と祓い清めて
坐せ奉り齋き奉る

掛巻も綾に畏き天照大御神の大御前及八百萬神等教
祖宗忠大神の大前 また此地をうしはぐ大地主大神
火具土神の大前を拝み奉りて「職姓名」畏み畏みも
白さく

此の「○○家」を時永く守護給い鎮まり坐す此の竈は
しも 此度事理由ありて解くこととなり計画なすこ
とにしあれば 大舟の思いをいたして 厳の広庭を
打ち固めて 八十日は多にあれども 今日を生日の
足日と齋き定め 土曳き均し起工めて「○○家」の竈
を解き奉らんとす 此斯申す状を聞召し相諾い給いて
障ることなく過つことなく 法則の随に工事は弥進
みに進めしめ給いて 厳しく美しく造成終えしめ給
へと事の由を聞こえ上げ奉らくをさやかに 平けく
安らけく聞召し諾い給い 永き年月の程此の竈を守
り給いし大神には その御神徳を被り奉りし日々に
感謝の真心を捧げつつ今日より後は天の元津御座に
安く平穩に還り鎮まり坐せ 安く平穩に還り鎮ま
り坐せと畏み畏みも白す(警畢)

※「竈」は、おくどの神様などという呼称もあり、地
域により名称も様々であるが、適宜祝詞中に挿入し
てもよい。